

石炭資本を糾弾する



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 33033番
33034番
兼入 山下 開
集行 半年間600円 送料共

春闘は終っていない

前時代的な労働諸条件 どこからきているか

炭労中央闘争委員会は、去月二十六日、資本側から出されてきた賃上げ、災害補償などに関する最終回答(別項記事を参照のこと)を得て春闘の妥結を決定、同日計画されていた三池労組など先行支部のストライキを中止した。炭労としては、賃上げなどの要求と結合して闘ってきた、石炭政策闘争は今後も闘う方針を打ち出しているもの、三池の全職場には妥結に対する不満が例年にもまして強く、「春闘はまだ終っていない。もう一度やり直すべきだ」との声をあげあがっている。

職場新聞「あせり」から

今年の春闘は、ドル・ショック以来の資本側の不況宣言がありましたが、それをのりこえてストライキを含めた組合の強い闘いで、三万円台を含めた二万円以上の賃上げを獲得した組合が、三万以上にも達しています。これは昨今の物価高や、生活苦を反映し、どうしても大幅賃上げを、という決意が資本の側に譲歩を迫った結果だと思われま。

炭鉱の場合どう?

では、炭鉱の場合どうだったろう。六千五百五十円(一方当り二百四十六円)で、とても春闘で勝ちとったなどいえる額ではありませぬ。私たちがまったく不満です。もう一度春闘をやり直せ、といいたさへあります。

なぜ、炭鉱の賃金が上がらないのだからか。それは、私たちが労働者にはかわりないからです。

豆ニユース
米軍戦車が国道十六号線をノンストップでまっしぐら。本土の沖繩化を地獄のこの横暴。
全駐労がベトナム戦場直結作業

どうした春闘方針

炭労の今年の春闘方針は、いままでの欠陥を克服するためには、たとえ時期を遅らせても、十五日ないし二十日間のストライキをかまえ、かりに全炭鉱の、先行妥結があっても、頑強に闘うことになりました。

三作で死亡災害発生

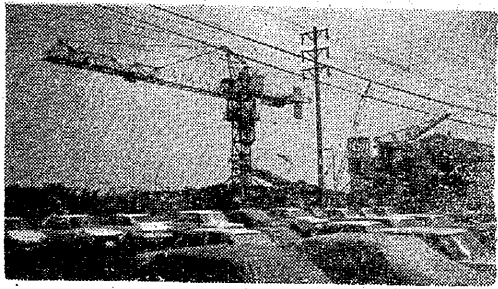
犠牲となった柿野さん 組合、会社に嚴重抗議

去月二十四日、三井三池製作所の労働者・柿野吉三郎さん(四四)

才。柳川市東町(居住)が、会社の保安監視のため、自ら先頭に立つて作業中不慮の死を遂げた。

三池労組は、二十七日柳川市で営まれた社葬に執行委員と、三作支部代表員を代表として参加させ、心から哀悼の意をこめた。

柿野さんの命をのみこんだ災害は、当日の午後〇時すぎ、さきこの操業にはいたばかりの同製作所の「港工場」(工場長・高橋鉄造)大牟田市新港町)で、タワー



三池製作所港工場

クレーンの組合せ作業中だった。

その際不慮に落ちかかっていた中間フレーム(重さ約一ト)にまきこまれ、即死したのである。

三池労組は嚴重に調査した結果(1)納期がせまり、作業に追いつくために、(2)職場では、違約金を三百万円も払わなければならないといううわさや流れていて、(3)重大な作業を、屋外で直前に進めていた。(4)オイル・ジャッキを動かせる油ははいつていず、重畳物切断の場合当然ワイヤーでつるなどの処置をすべきなのに、怠っていた。(5)柿野さん一人が先

炭労妥結内容

炭労中闘が春闘を妥結した、資本側の回答内容は概略次の通り。
賃上げ回答 一方二百四十六円(月一人平均六百五十円)。
なお、昨年は五百五十円だった。うち一律給は九十六円。
災害補償回答
イ、有扶養者の場合、四百万円

賃上げは絶対不満

賃上げ額は、不満である。したがって、春闘はまだ終わっていないといえる。

残された課題

大牟田地区春闘 共同がすすめている今年の春闘は、すでに相当数の組合が回答をひき出し、中には妥結組合が十数組合にのぼっているが、さきごろ、首切り合

同時に、災害見舞金の三百万円についても、もっとこの際増額すべきことを強く申し入れた。

COでなく「業務外」

大牟田 西本さん審査請求却下
去る昭和四十四年七月十二日に死去した、CO患者の一人、故西本正人さんの妻の美子さんは、かねて福岡労働者災害補償保険審査会(責任者・小野守一審査員)に對して、「遺族補償年金不支給決定の取消し」と「葬料不支給決定の取消し」を求め、「夫の死がCO中毒による、公傷死」である

同時に、災害見舞金の三百万円についても、もっとこの際増額すべきことを強く申し入れた。

故西本さんは、去る昭和三十八年の三川炭坑じん大爆発の際CO患者となった一人で、また大牟田労働者第一主義のために次々に殺されてゆくのを許しておくことはできない。

「死亡原因の急性脳脊髄炎、依然一貫して認められているCO患者のまっ殺の企図である。」

「死亡原因の急性脳脊髄炎、依然一貫して認められているCO患者のまっ殺の企図である。」

「死亡原因の急性脳脊髄炎、依然一貫して認められているCO患者のまっ殺の企図である。」